

山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



第53回通常総会が開かれる

通常総会 役員新体制始動、組合を導く

第53回通常総会は、2025年5月30日（金）流通会館で開かれ、組合員58人（委任状出席含む）が出席。2024年度の事業報告、収支決算、2025年度事業計画、収支予算案などの提出議案は全て承認、可決された。

冒頭のあいさつで、中込理事長は「原材料や輸送費、人件費の高騰は中小企業にとっても大きな問題である。更に人口減少に伴う労働人口の減少は避けては通れないためそのような問題に組合としても取り組んでいきたい。組合は不動産収入を基本に堅実な運営ができています。更に今年度は役員の改選期でもあるため、今回の総会では皆様のご審議をいただき、組合運営をより実りあるものにしていきたい」と語った。

2024年度の事業は、第1に新たな団地の再整備として、建築材料費・人件費が高騰して今まで立案した計画では建築予想金額が高額になり、組合会館新築工事が実現不可能な状況であるため、今後どのようにすべきか方向性を検討する中で、卸商業団地構造変化等対応支援事業申請を令和7年度に行うこととした。

第2に収益力の強化と財務基盤の充実として、施設運用事業収入は増収となったが、賃貸物件および組合会館等の修繕工事費用は増加した。脱退した組合員の土地建物を2件購入し、当該物件の防水工事等修繕費用が増加したが、内1件は2月より賃貸を行い、安定した家賃収入を見込んでいる。残りの1件は賃貸物件として

活用を考えていたが、組合員より土地・建物の交換依頼があり同時売買を行った。

第3に組合組織の活性化推進を目指して、第7回総合防災訓練やAED基礎講習会、定期健康診断を実施。新たに組合のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進のためにDX推進委員会を設置し、組合員との連携をシステム化する取り組みについて検討していることが報告された。

第4に組合諸施設の整備・補修として、老朽化による破損・故障が増加し修繕費用が大幅に増加している状況であるため、必要最低限の工事に留め、今後もランニングコストを考慮したうえで改修工事を行う予定とした。

2025年度事業計画は重点事業として、課題1「新たな団地再整備事業の充実」のため、団地再整備事業を数年かけて具体的修正対応策を検討すること、課題2「組合共同事業の充実と組合組織活性化」のために収益力の強化、財務の充実、組合員企業及び従業員の交流促進を行うこと、課題3「企業活動における県内最適地としての価値を高める」ためDXへの取り組みを強化すること、課題4「組合諸施設及び組合員施設の整備・補修」のため、老朽化に伴う修繕の実施や、組合員の諸施設の整備・修繕の相談を受けることとした。

最後に役員改選が行われ、中込裕理事長が再選。新副理事長に井上雅博氏、新理事に宮川淳也氏、網倉一修氏、新監事に細田俊氏が就任された。

法改正に向け各種手続きを学ぶ

**社会保険
実務講座**

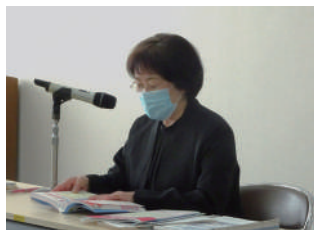
各講師が専門分野を解説

社会保険実務講座が2025年2月5日（水）、12日（水）、19日（水）、26日（水）の4日間にわたり、流通会館で実施され、組合員3社4人が参加した。

社会保険手続き基礎、社会保険労務保険の基本については内田美幸社会保険労務士にお願いし、各種保険給付活用、法改正事項については今澤智子社会保険労務士に解説していただいた。

各講師は、参加者が各会社で実際に行っている手続きの手順などを参加者に質問しながら、令和7年から段階的に施行される法改正においての変更箇所や注意点などを幅広く説明された。

参加者たちからは、「独学では難しい内容を分かりやすく学ぶことができた」、「この講座を活かして今後も勉強していきたい」などの声があり、非常に充実した講座となった。



▲社会保険労務士今澤智子氏 ▲社会保険労務士内田美幸氏

バスツアーで夢の国を満喫

8社47人ディズニーシーへ

組合員、準組合員、及び従業員とご家族を対象にしたディズニーシー日帰りバスツアーを2025年6月14日（土）に実施した。8社から47人と多くの方にご参加いただき、にぎやかなツアーとなった。

午後からはあいにくの小雨が降る天候だったが、参加者は家族や友人、同僚と時間の許す限り夢の国を満喫した。事務局は、来年度も当組合の福利厚生

事業として同様のツアー（東京ディズニーランド）を計画したいと考えており、開催する場合は、多くの皆様に参加いただきたい。



グループワークで実践的研修

**新入社員
研修**

社会人として自分を見つめ直す

新入社員研修が2025年4月10日（木）、11日（金）の両日、流通会館で開かれ5社から15人が参加した。

開会式中中込理事長は「幸せになるための4つのこと」について「愛されること、褒められること、人の役に立つこと、そして必要とされること。この4つを実現させるには、自分がそうすることが必要である。そして幸せになれるこの4つは仕事で得ることができる。自ら動き、能動的にコミュニケーションをとり、必要とされる人間になってほしい。新入社員研修では基礎を勉強し、社会に出てプロとして仕事に当たっていただきたい」と語った。

講師は㈱学宣の鬼塚啓介先生。受講者たちは、社会人としての心構えやビジネスマナーをはじめ、電話応対や敬語の種類、名刺交換のやり方等を学んだ。慣れない敬語の使い方に苦戦しつつも、これからの社会生活のために一生懸命学習していた。

実践的な研修に、受講者からは「グループワークや実例を交えた説明で理解が深まった」、「自己分析などもあり、自分を見つめ直すことができた」等の声を聴くことができた。

この研修をこれからの社会人生活に役立ててほしい。



▲5社から15人が参加した新入社員研修▲

新入社員紹介

氏名
会社名
趣味
特技
チャレンジしてみたいこと



原 拓海
株羽中田自動車工業
相撲観戦
1日も早く会社
に馴染む



志村 和歩
株羽中田自動車工業
映画鑑賞
お弁当づくり



若月 彩名
株羽中田自動車工業
友人と遊ぶこと
一人旅



井上 彩佳
榎正直堂
お散歩
アウトドア派になる



大島 理夢
国土防災技術株
映画鑑賞
一人映画／水泳



伊藤 綾花
甲信商事株甲府支店
猫の飼育
資格取得

氏名
会社名
趣味
特技
チャレンジしてみたいこと



遠藤 鈴斗
甲信商事株甲府支店
野球
資格・免許取得



竹内 康博
甲信商事株甲府支店
熱帯魚
資格取得



中澤 歌音
甲信食糧株
ゲーム
大きい魚をさばく



飯島 峻
甲信食糧株
運動
一人旅



ド タイ ビン
甲信食糧株
旅行
自分の能力を超える

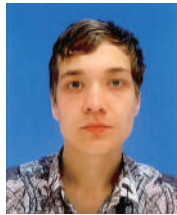


水野 愛音
株甲府情報システム
お菓子作り
ゲーム
資格取得

氏名
会社名
趣味
特技
チャレンジしてみたいこと



渡邊 響
株甲府情報システム
旅行
山梨のすべての市町
村を行って観ること



レヴァエヴ イリア
株システムインナカゴミ
ソフトバレーボール
本
日本の運転免許
JLPTN1



田辺 秀斗
リコージャパン株
旅行
サッカー
いち早くお客様と
信頼関係を築くこと



市川 夏帆
リコージャパン株
可愛い動物の写真や
動画をみること
早くお客様の役に立てる
よう沢山勉強します！



栗澤 日菜
リコージャパン株
音楽を聴くこと
アニメを見ること
新しい環境と人との出会
いを楽しみたいです！

※順不同

打ち解けた雰囲気で交流

17人が参加したウェルカムパーティー

新入社員ウェルカムパーティーが2025年4月11日（金）に、焼肉ぼくり リバーサイド店で開かれ、昨年度入社の社員も含め、4社17人が参加した。

参加者たちは焼肉を食べながら互いの会社や新入

社員研修についての話を交わし、にぎやかな雰囲気
で交流した。企業の垣根を越えた有意義な新入社員
ウェルカムパーティーとなった。



▲にぎやかな新入社員パーティー▲

2025年度 協同組合山梨県流通センター 研修・セミナー開催予定表

認定職業訓練

NO	講座名	教育内容	開催日	開催時間
1	新入社員研修	従来の新入社員研修の要素に加え、「職業人としての心構え」「自己表現能力」「対人対応力」「職場でのコミュニケーション能力」「“ほうれんそう”の強化」等を身に付けることを目的としています。 また、今後の仕事への夢や可能性に向けての意欲を開発することを目指します。 (2025年度の研修は終了しました。来年度も同研修を予定しております。) ■講師は(株)学宣 鬼塚 啓介氏	4月 10日(木) 11日(金)	9:30 ～16:30
2	フォークリフト 運転技能講習会 (前期)	最大荷重1トン以上のフォークリフト運転に必要な運転技能資格の取得を目指します。この資格を取得することにより会社の倉庫や構内のみでの運転が可能となります。(2025年度の研修は終了しました。) ■講師は湯村自動車学校 担当指導員	6月 21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日)	8:00 ～18:00
3	営業力強化 セミナー	営業職の初心者を対象に、顧客の「ホンネ」を聴きだしお互いが「win=win」の関係を構築するために必要な知識・スキル・ノウハウを習得するためのセミナーです。 ■講師は(株)学宣 小林徹氏	7月14日(月) 9月16日(火)	9:30 ～16:30
4	コミュニケーション能力 リスキリング 講座	コミュニケーションのあり方を改めて考えなおし、説得力のある話、相手がたくさん話してくれる聞き方のポイントなどを学びます。相手のタイプ別の攻略法などの紹介もあり、日常でも職場でも“話ベタ”で悩まないためにすぐ実践できる講座となっています。 ■講師は(株)学宣 担当講師	9月4日(木) 10月17日(金)	9:30 ～16:30
5	新入社員 フォローアップ セミナー	入社後、半年間の自己の振り返りを中心に「職責の基本行動」「コミュニケーション」「問題意識と問題解決」「ビジネスマナーの再チェック」についてレベルアップと今後のモチベーションアップを図ります。 ■講師は(株)学宣 鬼塚 啓介氏	10月 9日(木) 10日(金)	9:30 ～16:30
6	中堅社員研修	企業の組織力を高めるために、自らの立場と役割を理解し組織からの期待に応えられるように行動できる中堅社員を育成します。必要な能力の現状把握をし、主体的な仕事の進め方や役割発揮の意識付け等を行います。 ■講師は山梨県職業能力開発協会 専任講師	9月29日(月) 10月 1日(水) 3日(金) 7日(火)	13:30 ～16:30
7	指導力強化 セミナー	仕事を正確に、安全に、良心的に教えるための基礎訓練を行い、部下の無駄、失敗を減少させ、災害を未然に防ぐための指導と方法を習得します。 ■講師は山梨県職業能力開発協会 専任講師	11月 18日(火) 20日(木) 25日(火) 27日(木)	18日・20日 13:30 ～15:30 25日・27日 13:30 ～16:30
8	フォークリフト 運転技能講習会 (後期)	最大荷重1トン以上のフォークリフト運転に必要な運転技能資格の取得を目指します。この資格を取得することにより会社の倉庫や構内のみでの運転が可能となります。 ■講師は湯村自動車学校 担当指導員	11月 予定	8:00 ～18:00
9	英語基礎力 アップ講座	電話応対やメール、その他報告の表現などのオフィスで必要とされる基本的な英語表現について、楽しく継続しやすい学習方法を紹介します。 ■講師は(株)学宣 担当講師	1月20日(火) 2月10日(火)	9:30 ～16:30
10	マネジメント セミナー	企業のミニチュアを使用し、参加者一人一人が会社の社長になって仕入・製造から販売、決算までを行います。 ■講師は(株)アドヴォネクト 井上雅博氏	2月 20日(金) 24日(火)	9:00 ～17:00

※協同組合山梨県流通センター内従業員に限らず受講できます。その場合、事前に事務局までご連絡ください。

※日程・訓練時間等は組合理行事及び講師都合により急遽変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※講座申込人数により、講座が中止になる場合がありますので予めご了承ください。

お問い合わせ・申込みは事務局までお願いいたします。

事務局TEL 055-273-4711 FAX 055-273-4713

AEDの実技講習を受ける

14人が救命の基礎を学ぶ

応急手当講習会が2025年4月24日(木)に流通会館で開かれ、7社14人が参加した。

受講者たちは、甲府地区広域行政事務組合の消防救急指導員・普及員から心肺蘇生法とAEDの使用方法について、実際にAEDを使用し、救命処置の実技訓練を受けた。

他にも異物除去や止血法、熱中症への対応を学び、受講者たちは身の回りの物を活用した応急処置についての話などに熱心に耳を傾けていた。

また、受講者から「実際に救命処置を行う場に遭遇した時AEDの場所が分からない場合どうすればよいか」という質問に対しては、スマートフォンなどで“AEDマップ”と検索すればサイトで地図が出てくるので、それを見て欲しいとの回答をいただいた。

今回学んだ救命処置の技術をいざという時に役立ててほしい。

※当組合では、団地内の組合員企業の利用可能なAED設置場所をまとめたマップを作成し、配布しているため、是非ご活用ください。



▲AEDの使い方を学ぶ参加者

電話対応マナー研修を実施

ロールプレイングで新たな気づきを得る

電話対応マナー研修が2025年6月12日(木)に流通会館で開かれ、2社から5人が参加した。

講師は、(公財)日本電信電話ユーザー協会契約講師 サート企業(株)代表取締役社長の佐藤 万里氏が務められた。

研修では、言葉づかいや共感力を高める応対話法のポイント等の紹介から、自分の声を録音できる訓練専用の機械を使用し、ロールプレイング実践を行った。

近年では、電子メールやSNSが発達し、考える時間を取ることができるコミュニケーションツールが多くあるため、瞬時の判断が必要となる電話対応に苦手意識を持つ人が増加



▲佐藤万里氏

しているという。佐藤氏は、忙しいときでも心のゆとりを持ち、伝えたい情報を具体的に細かく伝えることが大切だと語られた。

受講者は、「個人の課題にあわせて指導していただいたので勉強になった」「電話は人間関係を築く大切なツールであると感じた」など、改めて自分の電話対応を見直し、新たな気づきを得られる研修となった。



▲ロールプレイング実践を行う参加者

～働き方改革推進支援事業～

巡回指導実施および電子黒板購入のお知らせ

当組合では「働き方改革推進支援」の一環として社会保険労務士による巡回指導1回2時間を無料で実施しております。社会保険、労務管理、働き方改革などの課題に対する助言や社会保険労務士によるセミナーを実施するので是非ともご活用ください。

また、備品として電子黒板を6月に1台購入いたしました。組合員の皆様は、セミナーや会議などで併せてご利用ください。



▲電子黒板利用の様子

組合員の変更

組合員名	変更前	変更後
花王グループカスタマーマーケティング(株)	代表取締役 竹内 俊昭	代表取締役 中尾 良雄
(株)勝沼運送	代表取締役 増田 敦	代表取締役 平井 克昌

準組合員の加入・脱退

準組合員名	加入・脱退の別	住所
古本買取通販ドットコム(株)	加入	中央市山之神 流通団地1-7-1

～組合からのお知らせ～

会社の代表者や団地内の責任者（支店長や所長等）に変更があった場合、流通センター事務局までご連絡ください。（TEL：055-273-4711）

『事務局日誌』 ～ 3～6月の主な会議等 ～

◆3月

- 5日 北ブロック懇談会
- 6日 正副理事長会議
- 6日 青年部LoMAの会
- 11日 次期役員推薦委員会
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 13日 理事会

◆4月

- 1日 正副理事長会議
- 10日～11日 新入社員研修
- 11日 ウェルカムパーティー
- 14日 リサイクル・一斉清掃
- 17日 研修厚生委員会
- 18日 西ブロック懇談会
- 22日 北ブロック懇談会
- 22日 青年部LoMAの会
- 24日 応急手当講習会
- 24日 南ブロック懇談会

◆5月

- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 13日 正副理事長会議
- 14日 組合会計監査
- 16日 理事会
- 20日 青年部LoMAの会
- 22日 北ブロック懇談会
- 30日 通常総会

◆6月

- 3日 正副理事長会議
- 10日 ボウリング大会西・南ブロック予選
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 12日 電話応対マナー研修
- 13日 理事会
- 13日 ボウリング大会東ブロック予選
- 14日 ディズニーシーバスツアー
- 18日 DX推進委員会
- 20日 ボウリング大会北ブロック予選①
- 21日 フォークリフト運転技能講習会
(29日迄)
- 23日 青年部LoMAの会
- 25日 ボウリング大会北ブロック予選②

かいがね

しばらく以前のことだ。何気なく新聞を広げると今どき何故だろうという見出しが目についた。2020年に新型コロナ対策として配布された「アベノマスク」を取り上げた記事だ。国民一人当たり2枚が郵便で届けられた。それ以前から、布製でサイズが小さく芳しくない評判が流れていた。受け取ったものの果たして使う気にはなれない代物で、とは言え、そのまま捨てるのももったいなく思い何か使い道はないかと考えて役場に相談した。ところが、役場でも受け入れ難いとの返事で、結局は近くのスーパーに回収箱が置いてあったのでそれに投じた。日常的にもそれを使用している人を見かけることはほとんどなく、このマスクの配布を思い立った安倍首相の全く不釣り合いで滑稽とも思われる姿をテレビで見るくらいで、多くの人にとっては失笑ものだったろう。

新聞記事は、「アベノマスク」に関わる契約過程を示す文書の開示を国に求めて、神戸学院大学の上脇博之教授が起こした裁判の判決についてだった。国側は400億円超をかけて約3億枚を調達したが、この経緯について業者とのやり取りを示すメールや応接記録などは「不存在」と主張して、法廷で担当職員らは、やりとりはほぼ「口頭」だったと証言した。これに対して判決は、交渉を進めるには情報を共有したり、上司に報告したりする必要がある、メールや報告書が作られなかったとする国の主張は「考え難い」として「不開示は違法」とであると判決したのだった。

配送料を加えれば500億円以上が投入されたにも拘らず、あの不評を買ったうえ8,000万枚もが廃棄処分となったマスクの調達の経緯について、国は国民に説明できないのか、したくないのか、疑問を持たざるを得ない。

これと似た事例がある。森友事件だ。安倍首相当時、首相の妻昭恵夫人が関係する森友学園に対する国有地の払い下げ価格が時価を8億円も下回ることが問題となり、国会で野党が財務省に対し交渉経緯等の文書の開示を求めた。その議論で、安倍首相や昭恵夫人の関与が疑われる部分について削除・改ざんが行われていたことが明らかとなり、上司からこの文書の改ざんを強制された赤木俊夫さんはその経緯を記録した赤木ファイルを残したままうつ病を発症し自殺した。その後、赤木氏の妻雅子さんはこの公文書改ざん事件の捜査の過程で財務省が検察に任意で提出した文書の開示を求めて訴えを起こしたが、1審の大阪地裁は雅子さんの訴えを退ける判決を下した。しかし今年の1月30日、2審の大阪高裁は1審の不開示とする決定は違法だとして地裁判決を覆し不開示決定を取り消した。

二つの事件に共通するのは公文書が公務員によって隠蔽・削除・改ざんされていた事実だ。或いは付度が働いたのかもしれないが、そもそも公文書とは行政文書や歴史的文書の適切な保存・利用等を図り、現在及び将来に亘って国民に説明する責務が全うできるように管理されるべきもので言わば国民の財産である。公文書で担保される国民の知る権利は国民主権を構成する重要な一部分であることを改めて心に銘ずる事件であり判決だった。

(M)